

事故防止の本質は社員がどう受け止めるかだ！

所内では一日中流しっぱなしのDVDが時間を決めたことにより少しは緩和？された。でも誰も見てはいない。運転科長は社員からテレビを見たいという要望に対して「テレビを見に来ているわけではないだろう」「(DVDを)ずっと流して事故防止の効果はある」と息巻いたという。ほんとに事故防止の効果ってあるの？

DVDを流し続けて事故防止になると言い切ることに笑いが止まらない。そもそも事故防止を真剣に考えているのかね～。運転士は緊張の連続で運転操縦をして到着してほっと一息、車掌は接客を終え安堵し、食事してテレビでも見るかなと思っけていても、あのDVDが映っていたらゲンナリだ。モード切替なんて出来っこないだろう！

所の重点目標のキーワードは「自律」だったよね。自律の意味は「自ら考えて行動すること」と所長が言っている。つまり、所員がどう理解し、どのように行動するかを自ら導き出すことになる。運転科長にとってDVDを流すことにより、どのように社員の事故防止意識が変わるのか考えているのだろうか？**事故防止の観点からいえば良かれと思ってDVDをかけることにより発信した側(管理者)の方ではなく、受信した側(社員)がどう感じたかに意味がある。**自律の本質から逸脱しているのでは？押しつけで相手が変わると本気で考えているなら笑止千万だ。ついでに一言、それでもまだDVDに効果ありと思うのならば一日中出勤遅延防止のDVDでも流せば？出勤遅延がなくなるかも？(笑)